第 2014-46 号

恵みと真理のニュース

2014 年 11 月の三次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］

神様に癒され御言葉と聖霊で私を導いてくださる神様に感謝を捧げます

私は 20 代頃イエス様を知る前まではっきりした人生観と正しい価値観と目標を持たず生きて来ました。中学校 3 年の時から特に生と死について悩みながら精神的にさ迷いました。われわれ人間はどこから来て何のために生きどこに行くのか多くの哲学書を読んだり思想家達の本を読んでも、どこからも誰からも答えは得られませんでした。人々から賢者と呼ばれる公子も弟子達が死について聞いた時“私も私がどこに行くのか知らない。”と言った話を読みました。また、好きだった実存主義の作家“カムィ”の“異邦人”という小説では人生が自信満々だった主人公が死の前では限りなく崩れる姿を見ながら世の哲学と思想で人間の存在の理由と本質についての答えは得られないと思い絶望しました。それだから、今私がいくら楽しんでも結局死に向かって行くのを認識し日々人生の空しさを思って生きているある日、大学の先輩についてキリスト教の宣教会の集まりに参席し始めました。そして、ついに御言葉で今まで 絶えず探していた我々の人生の根源と結末に対する答えを見つけることができました。限りない知恵と権能を持ってこの世の満物を創造する方がいらっしゃる事を知りました。人間はその方の栄光のため清く美しい相通とその幸せのため作られましたが、サタンに誘惑され罪を犯してわれわれの人生で避けられない死が訪れたということも知るようになりました。また、その方の限りない恵みと愛で我々に永遠な命得られる救いの道が開いた事も知りました。
罪がない神の一人の子イエス様をこの世に送ってくださって私達の罪を背負って死なれて与えてくださったその愛も驚き珍しかったです。しかもただイエス様を信じる理由の事実で私達が救われる事も私に衝撃でした。このすべての事を行なう方が神様であることを知り、始めて私がどこから来てなぜ生きてどこに行くのか悟りました。その後からもっと聖書を読み特に旧約聖書のイザヤ５３書を黙想すると私の罪を変わりに背負って十字架を背負ってゴルゴタを向かうイエス様の姿が思いついて涙が止まらなかったです。そして、賛美歌 102 章は涙なしには歌えられない曲です。しかし、そのような恵みの感激は長く続かなかったです。私達の家は他の家と比較できないほど儒教思想が強い家庭でした。それで家の祭祀をするのでイエス様を信じ仕える事がとても大変な事でした。私はイエス様を信じることを親と兄弟達が知った後から様々な迫害が始まりました。さらに母は私を叱って倒れてしまいました。父は私の前で聖書を破ってしまいました。
初めは理性を失いながら怒り叱った親に神様は生きておられ救い主であるイエス様だけを信じることによって救われ永遠な命を得られると大胆に福音を伝えました。すべての迫害は我慢して耐えましたが心臓が弱い母がイエス様を信じる私をみて目の前で倒れるのはみていられませんでした。
新信者だった私は心が弱くなり心で“主よ、私はいつどこでも主を信じて愛する心は変りません。親と家庭のためしばらく教会を休みます。私を赦してください”と祈って教会を辞めました。家の平安のためだった時間がもう 10 年を超えました。
日増しにイエス様に出会った時の初恋の感激はぼやけてしまいました。そのように崩れた霊的な状況で様々な苦しみがありました。嬉しい事があっても心の奥には満たされないところがありました。以前のように生きる意欲もなくなり空しさに落ち込み健康だった膝に急性関節炎の症状があって本当に苦しみました。毎週玄関の門の前に置く福音のニュースがそのまま落ちていても
見なかったある日、その福音の恵みの真理ニュースが読みたくなりました。それでそれを家に持って帰って特に説教の御言葉を読む際に私の心霊が御言葉と能力で恵まれました。再び教会に行くときには恵みと真理教会に行こうと思いました。首区域長に導かれびっこを引いて恵みと真理教会を始めて来て礼拝を捧げる日、神様は当会長の牧師の神癒の祈りを通して膝を治してくださいました。ずっと座ったり立てないくらい大きい痛みがあった膝が完全に治り礼拝が終わって家に帰って来る時には嘘のように歩く事が楽になりました。私は神様が病気を癒してくださったことも感謝していますが、私を忘れていたと思っていた神様は私を忘れておらず愛で抱いたことが感動と感激で感謝しました。その時から、神様が癒してくださった足で神様の愛と恵みを伝える事に熱心になりました。
その後神様は白血病にかかっていた弟も治してくださいました。私に“イエスは言われた。「『できれば』と言うか。信じる者には何でもできる。」（マルコによる福音書９：２３）御言葉くださり私に大胆に神様の恵みを求め、また当会長の牧師の祝福祈りと区域長達と共に期間を決めた祈りに答えてくださって弟の病気も治してくださいました。そればかりでなく弟の病気を通して母と弟も救われるようになりました。姑を恵みと真理教会を導いてくださり、今まで教会を通わなかった旦那も主日礼拝を捧げるように変化してくださいました。ハレルヤ！
弱くて足りない私に大きい愛と恵みを与えてくださった神様に感謝を捧げます。主にいつも感謝し主の中で日々安らかな人生、大胆な人生、活発な人生、希望が溢れる人生を生きるようにしてくださった主を賛美します。今日も御言葉と聖霊で私を導いてくださる神様にすべての栄光を捧げ一人の魂を尊く思う神様の御心に従順して熱心に伝導して任された聖歌隊長の職務と教会の聖徒を仕える奉仕にも頑張ります。

［信仰コラム］

全部成し遂げた

″すると、イエスはそのぶどう酒を受けて、「すべてが終った」と言われ、首をたれて息をひきとられた″(ヨハネによる福音書　19:30)

″全部成し遂げた。″はこの叫びは今から 2 千年前エルサレム城外、まさにゴルゴタの丘で鳴り響いた極めて救いな宣言です。その宣言に含蓄されている恩は莫大て全部言葉に表すことが難しいです。神が十字架の上で最後に叫んでいるこの言葉が何を宣言するのかを見てみます。
第一は、″罪が完全に贖罪された。″という宣言です。アダムの犯罪は全人類に影響を及ぼすことになりました。罪の存在を認めなかったり自分は罪がないと主張したとして罪の刑罰を免れるようになりません。結局は滅亡に至るようになります。人間の罪の問題は、人間のどのような努力で解決されません。罪で自由を得て、リリーフ得る道は、イエス・キリストだけです。神が十字架を背負られない上、血を流して死んウシムロ彼を信じるすべての者が罪許すことを受けて義人になるものは神が定めたものです。時になると神様が一人っ子、イエス様を世に贈ったし,私たちの罪を担当することにして代わりに刑罰を受けるようにしました。・キリストの中にある者の中には生命の聖霊の法が歴史するために罪と死亡の法が効力を及ぼすことができません。
第二は、″呪いが完全に贖罪された。″という宣言です。イエス・キリストによっている福音を信じる人は罪下賜された福をもらうことになります。義人になって、永生を得て、神様の子供がなって、天国を企業にされる福を受けます。聖霊様の臨在で、神様と同行する福、復活の栄光に参加する福を受けます。人生を律法の呪いから脱することができ、このような福をいただくため、神様が一人っ子を世に送って、イエスさまが贖罪の死を死でした。実に莫大な見返りと犠牲が支払われました。このすべての福がイエスが十字架の上で″全部成し遂げた。″と叫びたその宣言の中に含まれたものです。キリストキリストの中にある者は律法の呪いで完全な自由を得ました。
第三は、″死亡が完全に廃してきた。″という宣言です。イエス様のお隠れと復活は死亡の勢力を握った者まじんの権勢を廃して成都を死亡の恐怖から解放させる為です.アダムとの犯罪による罪は全人類の上に支配力を持って死亡に至るようにします。反面、にイエス・キリストによったご恩は彼を信じるすべての字を永遠に至るようにします。永生は永遠に生きるという意味以上です。天国で永遠に生きることを意味します。そして将来復活した体を持って永遠に生きることを意味します。わが主イエス・キリストが降臨しの日・キリストの中で死んだ者が再び生き返えて生きている人も変化されます。コリント全書 15 枚にはその時の場面を想像の中で目に浮かびように描くことができるように記録しておきました。
イエス・キリストを信じて生まれ変わった人は死を受けて望みのない他のこのように、汝悲しむなかれ、落胆しません。この驚くべき恩恵が″全部成し遂げた。″というイエスの宣言の中に入っています。ただ、私たちがまだこの世に肉体として生きている間には罪の誘惑と呪いの下にある世の中で起きることと肉体の死から完全に解放されたことがありません。しかし、イエスが再臨すると、イエス・キリストの拘束によっている恩を完全に享受することになることです。
姓も皆さんはこの世の中で生きている間にどんな問題を会っても、イエス様が″全部成し遂げた。″と叫びたこの宣言の意味を吟味しながら、喜びと期待感と度胸のよさで生きていくことを望みます。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

ペテロがやらかした間違いによる教訓

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

聖書の福音書と使徒行伝をよく見ればイエス様の弟子ペテロの性格がよく現われています．彼は行動派で衝動的で自分主張が強いです．すぎるほど自信満満とします.イエス様が弟子たちに関してどんなおっしゃれば ペテロはすばやく答えて行いました．それによってイエス様にほめられたこともあるがとがめを受けた場合がもっと多かったです．ペテロのこのような行動のためイエス様が言及した言葉に神霊で貴重な教訓がたくさんあります．今日は， ペテロがイエス様の旨や指示に対して拒否反応を現わした三つの場面をよく見ることで神霊な教訓を得るようにします.

第一は、マタイによる福音書,16 章に記録された場面です.

イエス様は、自分が必ずエルサレムに行き、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、そして三日目によみがえるべきことを、弟子たちに示しはじめられた。すると、ペテロはイエスをわきへ引き寄せて、いさめはじめ、「主よ、とんでもないことです。そんなことがあるはずはございません」と言った。イエスは振り向いて、ペテロに言われた、「サタンよ、引きさがれ。わたしの邪魔をする者だ。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている」。
それからイエスは弟子たちに言われた、「だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従ってきなさい。” しました．“誰でも私を付いて来ようとするなら自分を否認しなさい.” しました．自分を否認するということはすべての事を自分中心と判断することを拒否して神様の中心に理解して判断するのです．イエス様がペテロを叱ったわけはイエス様の受難予告に対してペテロが自分中心と判断して言ったからです．
苦難と死と復活に対するイエス様の予告は神様の決めた計画と旨を表明したのです． ペテロは神様がエルサレムで苦難を受けて死ぬようになるという事実を受け入れることができなかったです．イエス様に対する愛と期待のためだけではなく苦難と死がなしに早いうちに偉い王国を成すメシアを期待したからです．同時に弟子たちが得るようになる権力と光栄も思いました.それで自分を否定するよりむしろ神様の言葉を力強く不正で出ました．するとイエス様がペテロに向けて “サタンよ，私の後に退きなさい.お前は私を倒れるようにする者だ．あなたが神様の仕事を思わなくて返って人の仕事を思うのだ.”ととがめました．ペテロをサタンだと呼んだのではなくサタンの道具で役をしたことを指摘したのです．“誰でも私を付いて来ようとするなら … 自分の十字架を負いなさい”と告げました．イエス様が負う十字架は人間の罪をあがないのため負ったこととして人類のあがないの大業を完成するという一回の唯一の事件です.

クリスチャンは各自に与えられる十字架があります．厳密に言わば障害や貧乏や疾病は十字架とできないです．このようなことは忍耐しながら乗り越えるとか変化させて脱いでしまわなければならないでしょう．私たちが負わなければならない十字架はイエス様を仕えて愛しながら伝えるから経験するようになる苦痛，損失，犠牲，逼迫を意味します．このような十字架は聖なる喜びと所望の中で負わなければなりません.“誰でも私を付いて来ようとするなら … 私を従う” と告げました．イエス様だけ眺めなさいという意味です．神様だけ眺めてついて行く人は決して試験に入るとか滑落する用事ができないです.

二番目は、ヨハネによる福音書,13 章に記録された場面です.

ユダヤ人の 3 大節期の中のひとつの過越の祭の前に日夕方，イエス様が１２弟子たちとともにエルサレムのどの家の屋根のへやに集まって夕食をしていらっしゃいました．その時イエス様がさっと席で起きて上着を脱いでタオルを持って来て腰にかけました．そしてたらいに水をもって弟子たちの足を洗わせてタオルでぬぐう事をし始めました．このようなイエス様の行動に対して ペテロが三度にかけて意思表現をしたしこれに対してイエス様が答えました.
一番目の対話はこのようです． ペテロがイエス様を向けて **“主よ、あなたがわたしの足をお洗いになるのですか」”** と拒否反応を現わすとイエス様が答えるのを **“わたしのしていることは今あなたにはわからないが、あとでわかるようになるだろう」”** しました．“この後に”と言うのはイエス様の十字架の受難に連関されたすべての事件と復活昇天そして聖霊降臨後を示します．イエス様の弟子たちが聖霊の臨在と言いながらも外れた行動をしました．イエス様がおっしゃるのを **“しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってつかわされる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、またわたしが話しておいたことを、ことごとく思い起させるであろう”（ヨハネによる福音書 14:26）** しました.
二番目の対話はこのようです． ペテロがイエス様を向けて **“わたしの足を決して洗わないで下さい」。イエスは彼に答えられた、「もしわたしがあなたの足を洗わないなら、あなたはわたしとなんの係わりもなくなる」”** しました．“係わりがない.” という言葉は **“遺業がない”** と意味です．遺業と言うのは天国に入って行ってその光栄に参詣することを意味します．イエス様と係わりがない人生よりみじめな人生はないです.
三番目の対話はこのようです．シモン ペテロが態度を 180 度に変えて “神様，私の足だけではなく手と頭も洗わせてください.” したらイエス様が答えるのを “すでにからだを洗った者は、足のほかは洗う必要がない。全身がきれいなのだから。あなたがたはきれいなのだ。” しました．イエス様は “風呂に入ったこと” と “足を洗うこと”の差をおっしゃいました．ここに悔い改めに関する非常に重要な真理が啓示されました．救いに至る悔い改めがあります．この悔い改めは風呂に入る悔い改めと言えます．自分が罪人で人間の方途では罪を解決することができないことを認めてイエス様が私たちの罪をあがないしたことを分かって信じることが救いに至る悔い改めです.

そして神様の子らしい生のための悔い改めがあります．この悔い改めは足を洗う悔い改めと言えます．父は息子の過ちを裁判で審判しないです．息子の行為が父が望む標準に至ることができなければ息子らしく行うようにするための愛の責望をします．神様の子らしくない行為を悔い改めなければ心霊が鈍くなって祈る度胸を失います．神様の懲戒を受けるようになります．お風呂はイエス様を信じてあがない受けて生まれかわった人になって神様の子になった状態を意味します．足を洗うことはもう救いもらった者が神様の思った通りに行うことができずに神様の光栄を防ぐの仕事に対する悔い改めです．お風呂に入ったといえども外出してから帰って来ればまた足を洗わなければならなそうに生まれかわった聖徒たちと言っても罪深いこの世の中で住みながら神様が嬉しくできない行為をいつも悔い改めなければなりません.

三番目は、マタイによる福音書 26 章に記録された場面です.

晩餐が終わった後イエス様は弟子たちを連れて甘藍山にいらっしゃいました．イエス様が十字架の死を前にして祈るためなことでした．イエス様が弟子たちに **“今夜、あなたがたは皆わたしにつまずくであろう。”** しました． ペテロはイエス様の言葉を到底に納得することができなかったです．**“「たとい、みんなの者があなたにつまずいても、わたしは決してつまずきません」。”** と広言しました．するとイエス様がペテロに向けて **“「よくあなたに言っておく。今夜、鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言うだろう」。”** しました．ペテロは直ちにこれを否定しました．**“「たとい あなたと一緒に死なねばならなくなっても、あなたを知らないなどとは、決して申しません」。”** しました． ペテロは本気を言ったのです.しかしその本気がそのまま実行されるのが決して易しくないということを思うことができなかったです.
結局その晩はイエス様の予告したとおり弟子たちが醜態を見せた恥かしい夜になりました．がリオデユダが率いて来た者等がイエス様を逮捕することを見て弟子たち皆が逃げました． ペテロは逃げている途中また心を取りまとめてイエス様が審問受ける現場に行きました．しかしその現場で恐ろしさに包まれて自分はイエス様が分からないと人々の前で三度や否認してしまいました．誘惑と患難と逼迫と脅威が近づいてもイエス様を相変わらず愛して信じることが人間の決心と意志にだけなるのではないです．主神様の恵みが臨まなければなりません．聖霊様の助けることがなければなりません．その後ペテロはイエス様の死と復活と昇天を目撃した人になりました．五旬節の日に聖霊充満を受けました．それから ペテロは胆大で熱情的に福音を伝えました．殉教として彼の生を飾りました． ペテロは間違いが多かったがイエス様を信仰と愛する心は変わりがなかったです．だから間違いを通じて彼は教訓を得てこれから進みました.

今日は ペテロがやらかした間違いに関して私たちが得るようになる教訓たちをよく見ました.その教訓たちを皆さんの心に留めることで等しい間違いをやらかさなくなるし，水準の高い信仰生活をいとなむ聖徒たちになるように願いします.